

京都女子大学、学生の自由な挑戦を応援する 「らしつよチャレンジ」今年度採択の 3 プロジェクトが決定

着物リメイク、ユニフォーム再活用、図書館の空間活性化など、
京女生が主体となって社会課題やキャンパス活性化に挑む

京都女子大学（所在：京都市東山区/学長：竹安栄子）は、設立以来一貫して、固定観念にとらわれず社会の変革に挑戦する人材の育成に力を注いでおり、昨年にはその独自の存在意義を明確にした「女子大学宣言」を公表いたしました。

本学では、この宣言の理念と本学の使命である「らしさをつよさに 未来をひらく」の体现を目指し、学生が主体となって実施する様々な取り組みを支援するプロジェクト「らしつよチャレンジ」の 2026 年度採択プロジェクト（全 3 件）を決定いたしました。

今年度は厳正な審査を経て、サステナブルファッションの推進や障がいのある方に配慮した「アダプティブファッション」の普及に挑む衣服再活用プロジェクトや、学部学科を超えた対話と知的な交流を生み出す「図書館ラーニングコモンズ」の空間創出、伝統文化を現代のライフスタイルにアップデートする着物リメイクなど、社会課題やキャンパスの新たな価値創造に挑む 3 つのプロジェクトが採択されました。学生たちは 2027 年 2 月中旬の成果報告会に向けて、今後本格的な活動を展開してまいります。



「らしつよチャレンジ」は、学生の持つ無限の可能性や自由な発想による挑戦を支援することを目的に 2018 年から始まった学内助成制度です。学長を中心とした審査委員会が毎年学内公募を行い、採択されたプロジェクトには活動予算の補助やアドバイザー教員によるサポートが提供されます。

今年度採択された 3 つのプロジェクトはいずれも、社会課題（SDGs、サステナブル、伝統産業の継承、インクルーシブ社会）やキャンパスライフの向上（交流の場づくり）に対して、学生自らが強い問題意識を持ち、授業やゼミで培った知識・技術を活かして実践へと踏み出す挑戦的な取り組みです。京女生たちが自らの想いを起点に試行錯誤を重ね、自分ならではの「らしさ」「つよさ」を開花させながら、未来を切り拓く大きな一歩を踏み出します。

「らしつよチャレンジ」概要

趣旨：大学の使命「らしさをつよさに 未来をひらく」の体现を目指し、学生主体で実施する社会貢献・研究・実践活動に対して学長を中心とする審査委員会が審査を行い、予算支援・助成を行う制度。

今年度採択件数：3 件

活動期間：2026 年 6 月～2027 年 1 月

成果報告会：2027 年 2 月中旬予定（学内・一般・報道関係者向けに年間の活動成果を発表）

■プロジェクト詳細

1. 「SDGs ファッションプロジェクト」

代表者：松山 史穂（マツヤマ シオン 家政学部 生活造形学科 4 回生）

プロジェクト概要：サステナブルファッションとアダプティブファッション（障がいのある方や身体的特性に配慮した衣服）の2つの視点から、持続可能でインクルーシブな社会の実現を目指すプロジェクトです。

サステナブルの面では、「回収した衣類をいかに活用しきるか」を重視し、今年度は回収対象を回収・再利用が難しい「ユニフォーム（制服・スポーツウェア等）」に限定。リメイクによる新たなファッションアイテムとしての再定義を行います。アダプティブの面では、回収古着に加え京都の伝統的染織産業の未活用素材（繊維廃棄物）を取り入れ、衣装制作やイベント発表を行います。

今後の主なスケジュール：①＝サステナブルファッション、②＝アダプティブファッション

2026 年 8 月：①夏季古着回収（1 日＝京都ポルタ、13 日＝京阪モール、京阪シティーモール）、

②アダプティブファッションショーへ向けた衣装制作（7 月～9 月）

2026 年 9 月：①エンウィクルのアップサイクルファッションショーに参加（9/3、梅田）

2026 年 10 月：②第 4 回 関西学生 アダプティブファッションショーへ出展（10/3、難波）

2026 年 11 月：①本学「藤花祭」にてリメイク商品販売、フリマ開催（10/31～11/2、京都）

②本学「藤花祭」にてアダプティブ衣装展示（10/31～11/2、京都）

①梅小路公園「循環フェス」参加（11/21、京都）

2026 年 12 月：①エンウィクルのアップサイクルファッションショーに参加（12/2、梅田）



学生服・スポーツウェア回収の様子（本年度）



アダプティブファッションショー
で披露した衣装（昨年度）

松山さんコメント

授業で学ぶアパレル材料学（繊維特性）や生産実習（縫製技術）を活かし、サステナブルファッションとアダプティブファッションの双方に貢献したいと考え、この活動に取り組もうと思いました。

サステナブルファッションについては、単に再利用するだけでなく、「こんな活用法があるんだ！」と驚かれるような魅力的な服へ再生させ、捨てられる衣服の選択肢を増やします。

アダプティブファッションについては、「本人が本当に着たいと思えるオシャレ着」のアダプティブファッションを形にし、誰もが自分らしくファッションを楽しめるインクルーシブな社会を目指します。

2. 「コモろうプロジェクト」

代表者：小林 加奈（コバヤシ カナ 現代社会学部 現代社会学科 4 回生）

プロジェクト概要：「静かに勉強する場所」と思われがちな大学図書館の交流スペース「アクティブラーニングコモンズ」を、学部学科を超えた学生同士や教職員との「対話と交流の場」へ再生させる取り組みです。

ラーニングコモンズの認知度向上と利活用促進のため、BGM（クラシック音楽等）を流す音を用いた空間づくりの検証や、本学所蔵の貴重書展示企画、SNS での Q&A 発信を実施。さらに、CiNii・統計データ・新聞データベース等を学生同士で教え合いながら学ぶ「データベース検索体験会」や教員によるミニ講義を定期開催し、ラーニングコモンズを「学生がやりたいことを表現・実現できる魅力的な場所」へと活性化させます。

今後の主なスケジュール

2026 年 8 月：館内 BGM 空間実験アンケート実施

2026 年 9 月：本学教員によるミニ講義開催

2026 年 10 月：アクティブラーニングコモンズにて学生による企画展示
データベース検索体験会（第 2 回、3 回）

2026 年 11 月：ミニ講義またはワークショップの開催



アクティブラーニングコモンズ



貴重書展示企画の様子（本年度）

小林さんコメント

昨年度は職員の方とも連携し、実験的な活動を重ねる中で見えてきた課題や学生ニーズを洗い出し、今年はより本格的な形に発展させたいと考え、らしつよチャレンジに応募しました。夏休みは、SNS での「コモンズ利活用 Q&A」や、交流の床での写真展の準備を具体的に進めます。秋以降はデータベース検索体験会を開催し「誰もが自分らしく集い、学べる場所」へコモンズを生まれ変わらせるため、全員で全力で挑戦します。

3. 「着物リメイクプロジェクト」

代表者：林 嶺那（リン リョーナ 家政学部 生活造形学科 4 回生）

プロジェクト概要：洋装化が進み、家庭で眠ったまま処分されてしまう着物の価値に着目し、現代のライフスタイルに合わせた「新たな着物文化」と「サステナブルファッション」を提案します。

着物を素材として活用し、裁断廃棄の少ない「直線裁ち」構造を活かした「ドレス」、和の要素を取り入れた日常着「普段着」、昇華プリント技術（染料を繊維内部へ浸透させる技術）を用いて作務衣の快適性と着物の繊細な意匠を融合させた「リラックスウェア」の 3 つの衣装を制作。制作過程で生じる端切れも小物へ再利用し、廃棄ゼロを追求します。

今後の主なスケジュール

2026 年 7 月～8 月：衣装制作

写真・動画撮影

ファッションショー（妙心寺塔頭長慶院）

2026 年 9 月～10 月：撮影コンテンツの SNS 発信・成果まとめ

2026 年 11 月：本学「藤花祭」ワークショップで展示（写真・動画・衣装）



リメイクに取り組む様子（本年度）

林さんコメント

この活動を通して、着物を「特別な日に着るもの」だけではなく、日常の中でも取り入れられる新しい選択肢として発信し、着物文化の継承や着物の新たな価値の創出につなげたいと考えています。また、使われなくなった着物を活用することで、資源を大切に持続可能なものづくりについても発信していきたいと思っています。

現在は、ファッションショーや展示に向けて衣装制作を進めています。今後は完成した作品を多くの方に見ていただき、着物の魅力や可能性を広く知っていただけるよう活動していきます。

■京都女子大学について

明治末期、女性の高等教育への熱意と信念を原動力に設立され、2020 年に創基 100 周年を迎えた女子総合大学です。専門分野の学びに加え、幅広い教養を通して、理論的に考える力、自分の考えを発言する力、責任をもって行動できる力を育成。性差にとらわれることなく自らの可能性を最大限に伸ばし、自分らしい人生を全うしながら「社会の変革に挑戦する人」を世に送り出しています。

昨年には、この独自の存在意義を明確にした「女子大学宣言」を公表しました。本学はこれからも、固定観念にとらわれず多様な人々が共生できる社会の実現をめざし、時代の課題に主体的に向き合う人材の育成と、学術研究を通じた社会貢献に努めてまいります。

公式ホームページ <https://www.kyoto-wu.ac.jp/>

女子大学宣言 <https://www.kyoto-wu.ac.jp/daigaku/kyojo/declaration.html>

【報道関係のお問い合わせ先】

京都女子大学広報デスク（ラブレ内）担当：香川・田村

TEL：06-4708-3766 E-mail:pr@raple.co.jp

京都女子大学 入試広報課 岡橋・亀井・竹縄 TEL：075-531-7054

京都女子大学HP <https://www.kyoto-wu.ac.jp/>
